



福田雅光の“浮かせ論”

カーペットの条件では SN比の改善に大きな効果あり



**10年以上前からケーブルの
振動対策を意識していた**

ケーブルを浮かせるという方法は、2005年福田屋のコーナーで「最近、気になるケーブルルスタバイザー」として実験、製品テストを行ったことを覚えていて、振動対策を機器が問題にするのであれば、床を這うスピーカーケーブルの受ける影響も無視できないはずだ。当時はまだ製品は少なく、ただ、オランダのシルテック社の最高級スピーカーケーブルに、円形の重い金属で作られたケーブル固定器が付属。太さに合わせ溝にぴったり埋め込む構造だ。これが意外な効果があり驚いた。



福田雅光氏のオーディオルーム。ケーブルやアクセサリの研究がしやすいよう広く場所を取って試聴を行っている



フルテックのNCF Boosterはアコースティック・リヴァイブの電源タップRTP-4に活用されている



アンズズのインシュレーターは福田屋がいま注目するアイテム



オーディオテクニカのAT6285は現在も電源ケーブルに稼働中

ぐんと力が出て透明度、分解力を高める。単売されてはいなかったが、こんな方法が効果を持つことを知った。その頃オーディオテクニカからいち早くAT6285が発売された。直径65mm、12mm厚の真鍮プレート2枚でケーブルを自重で抑える構造だ。シルテックには及ばないが、透明性を高めすっきりとした音色を出す。低音にも力感をプラスするような効果を感じた。写真のように現在でも電源ケーブルに使用している。

また、ケーブルを乗せるタイプで、カナダのガットワイヤーのノートパッドがあった。内部に高分子重合体ジェルを入れて、高周波ノイズや振動を吸収する。ケーブルに使うと効果があることを見つけた。そのとき電源ケーブルでテストして効果はトップレベルにあっても広い帯域でバランスよく作用し、透明度を高める。最近ではヒッコリー材と制振材のアコリバの製品やフォックのイペ材と制振シートを使う製品をスピーカーケーブルなどに使ってきた。この効果は激変するものではないが、使った方が音のくもりが少ない。

福田雅光 愛用の浮かせアイテム

- FURUTECH ケーブルホルダー NCF Booster (¥32,800/税別)
- ACOUSTIC REVIVE ケーブルインシュレーター RCI-3H (¥18,000/税別/1個)
- fo.Q ケーブルスタバイザー IP-11 (¥8,800/2個/税別)
- ANSUZ ケーブルインシュレーター-Darkz Cable Lifter タイプC (¥50,000/税別)、タイプD2 (¥87,000/税別) (各1個)
- AUDIO-TECHNICA ケーブルスタバイザー-AT6285 (生産完了)

新しい製品では、アンズズの製品は効果ははっきりしている。ケーブルインシュレーターはやはり無視できない。これを使うならダークス・ケーブルリフター(Cタイプ)だ。コントラストを高精度を高め混濁が減少する。あるいはD2タイプだ。この方が、より引き締まって力強く音は厚く中低音の力を出し低音はしっかりと。これは高価であるから一般には薦めないが、素材とセラミックボールを使う構造はよく検討されている。

ケーブルスタバイザーは電源ケーブルを交換するほどの変化はない。使わないよりは使った方がベターというマイナス要素の消去である。高度に調整した信号経路で検討する方法ともいえる。約13年前福田屋が実験したのは、プラスチック製のクランプを使う方法だ。これでは大きな効果は得られないが、床の状態がカーペットのような条件では、音のくもりを改善してSN比の向上にメリットをみせた。カーペットの上にあるケーブルは混濁しやすいようだ。

同様な種類でDAISOの100均ショップでステンレス製のY型ピンチがあった(写真上)。スピーカーケーブルで使くと、音の濁りくもりが減少してクリアになる。メリットはある。この種の方法が、どの程度効果があるか。試してみるには手頃な製品だ。